

教育研究実践報告誌の創刊に寄せて

教育学部長 中村孝一

この度、教育学部初等教育課程から「教育研究実践報告誌」が創刊されました。この報告誌は、初等教育課程所属の教員からの強い要望で発刊されたものです。既にある年一回発行の学部研究紀要以外に、初等教育課程でも日々の研究の成果を発表する場を作りたいという思いから創刊に至ったと聞いております。本誌の名前が表す通り、まさに初等教育課程教員の、日々の「教育」・「研究」・「実践」がここに報告されています。

平成27年12月の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～」では、「教科に関する科目と教職に関する科目の連携」が強く求められ、「『教科に関する科目』と『教職に関する科目』等の科目区分を撤廃するのが望ましい。」と、踏み込んだ提言がなされています。これを実現するためには、両者の教員が、互いの授業内容のみならず互いの研究内容も理解し、更には共同で研究を行うことも必要となってくるでしょう。

今回の本誌の創刊は、初等教育課程の教職科目担当の教員と、国語・算数（数学）・理科・社会・音楽・図工・生活・家庭・体育・英語・道徳等の教科担当の教員の教育研究の内容が報告されており、「教科」と「教職」の連携、融合のきっかけとなるに違いありません。

本誌の創刊を機に、初等教育課程の教育研究が益々、充実・発展することを強く願っております。